

広報

心じ

NO. 137

48.6.25 発行

発行・富士市役所

富士市永田61-1

編集・企画調整部広報課

【毎月5日と25日発行】



砂の造形大会（六月十七日―元吉原海岸）

みんな



盛り上がった環境週間

住みよい環境づくりと口で言うことは簡単ですが、私たちの富士市はまだまだ住みよい環境とはいえません。住みよい環境づくりのため市でも努力していますが市民みなさんの協力が必要です。

昨年6月にストックホルムで開かれた

国連人間環境会議で「かけがえのない地球」を守るために、環境週間が設けられました。今年も第1回目、6月5日から環境週間がはじまりました。

富士市でも1日ごとに趣向をこらした各種の行事を実施しました。5日の環境デーには、広報無線放送を通じて市長宣

言。6日の環境を語る日は、各種団体の代表者で環境問題懇談会。7日の環境を知る日は工場見学や青空号の公開。8日と9日の環境を作る日は、海岸や公共施設などの大掃除。10日の環境を守る日は工場の1日休業や操短。11日の環境を考える日は、大石武一元環境庁長官の記念講演を行ないました。



環境を守るために 渡辺市長が宣言を

6月5日は環境デー

渡辺市長は、広報無線放送を通じて午前7時30分から市長宣言を行ないました。

「みなさんお早ようございます。富士市長の渡辺彦太郎です。きょうから環境週間がはじまります。わたくしたちは、この週間を機会に、かけがえのない地球を守るため残された自然を守り、失なわれた環境をとりもどすことを考えたいと思います。そこで、この環境週間にあたり、次のとおり宣言します。市民の健康と生活環境の保全、はすべてに優先するものであり、そのために富士市は全市民の力を結集し、豊かな自然環境の確保につとめることを誓います。」

自然の保護に活発な 意見が

6月6日は環境を語る日

環境問題懇談会を午前10時から、渡辺市長をはじめ各種団体の代表者が出席して行ないました。

懇談会では、生活環境問題や自然環境問題について活発に意見の交換を行ない環境保全と改善のため努力を続ける決意を新たにしました。

また、この日、富士・愛鷹山麓の乱開発を防止しようと「富士・愛鷹山麓の自然を守る市民の会」が結成されました。

環境保全を願 い風船上げ

6月7日は環境を知る日

元吉原小学校では全校生徒が環境保全を願い、花の種などを付けた風船を上げました。また、風船上げのあと5・6年生に環境監視測定車の「青空号」を公開しました。みんな青空号を見るのは、はじめてとあって全員が市公害課職員の説明を熱心に聞いていました。



住みよい環境づくりを

中学校全校と商業高校の化学部、新聞部の生徒が工場見学を行ないました。吉原第2中学校の富田君が次のような感想文をかいてくれました。

吉原第2中学校2年

富田和彦

「公害の町」富士市で育ったぼくは、公害について小さい時から関心をもっていました。そしてぼくは、公害と聞くと、すぐ、工場が悪いんだな、と思ったのです。

環境週間に市の行事としていくつかの工場の見学をしました。会社の人の説明を聞いているうちに、いま



6月10日は環境を守る日

工場の1日休業や操業短縮、ペーパースラッジの処分地処理状況を見回りました。工場の1日休業では、チリ紙工場約60工場がほとんど休業しました。

また、大手32工場のうち9工場が休業、17工場が一部休業や操業短縮など、2工場が燃料を低イオウ重油に転換しました。このほか60工場で、工場周辺の清掃や木や花を植えたり、付近の公園などの美化に協力してくれました。

工場も環境美化に協力

で自分が考えていたことが正しいのかな、と不安に思えてきました。

というのは、新聞やテレビなどで報道されているのでは、会社はヘドロを出したり、空気を汚したりして悪いと思っていたのに、会社でも公害と戦っていることがわかったからです。そうした努力を少しもみようとしなかった自分の考えを大きく反省しました。だけど、まだ公害がひどい、という感じはどうしてもなくなりません。企業が公害をなくすために、巨額の投資をしていることはわかりましたが、もっともっと住みよくするために努力してほしいと思いました。

企業の実態を少しでも知り、反省したあとで気がついたことがあります。会社が空気を汚したり、川を汚すのが公害ですが、ぼくたち市民が川へゴミを捨てたり、野山で木や草花をとったりするのも一種の公害ではないだろうかということです。公害といえば何んでも会社が悪いと決めつけがちですが、草木を守り、川や道にゴミを捨てない努力をしなければならぬと思います。

そうした心が、かけがえのない地球の自然を守ることではないでしょうか。ぼくは、環境週間を機会にそうした心をもった人がふえることを祈り、自分も努力したいと思います。



海岸や公共施設の清掃

6月8日と9日は環境を作る日

8日には産業廃棄物処理の監視パトロール、不法看板の撤去、自動車排気ガスの点検、9日は海岸や公共施設の清掃などを行ないました。

自動車排気ガス点検は、一般通行車両を市道長沢下田線の富士中央車検場前で行ないました。この結果、300台中未調整車は13台あり、車検場内で排気ガス点検を実施し、警告書を交付して調整を行なうよう指導しました。

元吉原海岸の清掃は、田子の浦港の西側から沼津市との境界までの3.6㎞で、元吉原小学校区の子ども会や社会奉仕団、市職員約2000人が参加して行ないました。波打ち際から海岸堤防までを2時間にわたって実施しましたが、汚れていた海岸も見違えるようになりました。

また、臨港富士線中央分離帯の清掃は、花の会や婦人会など各種団体と吉原商業高校1年生の約900人が参加して行ないました。草取り、芝刈りなどで、道路も一段とさわやかになりました。

大石元環境庁長官が記念講演

6月11日は環境を考える日

大石武一元環境庁長官が「環境保全と地域開発」についての記念講演を農協会館で行ないました。

大石氏は、環境行政の先鞭をなした人だけに、講演には熱が入っていました。まず、「環境問題は日本だけでなく、今や世界的に共通する課題となっている。自然破壊となる経済発展は、将来人類の

危機を招く、すでに人間の精神はむしばまれつつある。環境を取り戻すには行政や企業の姿勢、処理技術の開発などはもちろんのことだが、地域に住むすべての人がヒューマニズムに立った公衆道徳意識を養うことが大切である。」さらに具体的な例をあげ、公害対策、環境保全を推進するのは、住民の結集した力によるものであると力説し、会場のひとりひとりに感銘を与えました。

富士市公表第3号

地方自治法第243条の第1項の規定に基づく「富士市財政事情の公表に関する条例」の定めるところにより昭和47年10月1日から昭和48年3月31日までの間における富士市の財政事情を次のように公表します。

昭和48年6月1日 富士市長渡辺彦太郎

市の財政を

一般会計



【3月議会で田子浦中の用地費などを補正】

昭和47年度の一般会計当初予算は87億390万円でしたが、最終予算は116億9322万円となり、当初予算にくらべ27億8932万円が追加補正されました。追加補正された主なものは次のとおりです。

9月議会で 14億1400万円補正

補正したおもなものは、総務費が2756万円、土木費4億2208万円、教育費1億8060万円、予備費5億556万円などです。

土木費の4億2208万円は、道路維持に6800万円、道路新設改良に1億3380万円、河川の改良に4708万円、街路事業に8569万円、都市下水路事業に4768万円をあてました。

教育費は1億8060万円で、富士第1小学校の体育館を建設するために5750万円、大淵幼稚園の園舎増築工事などに860万

円、今泉公民館の建設などに4334万円、市民プールの建設費に4000万円を追加しました。

12月議会では 1億7800万円を補正

補正したおもなものは、民生費1億4965万円、衛生費1億2678万円、土木費1億2003万円、教育費1億4099万円などです。なお、予算上の補正額が少ないのは、一般職員や教育関係の人員費調整を行なったため、予備費から4億8545万円をあてたためです。

衛生費は1億2678万円で、中央病院の運営や呼吸器疾患の調査を行なうため追加しました。

土木費は1億2003万円で、児童公園用地の購入や富士川緑地造成工事などを68

80万円、公営住宅の建設などを行なうため3212万円追加しました。

3月議会では 6億5820万円を補正

補正額のおもなものは、教育費の4億856万円で、田子浦中学校や厚原（仮称）中学校の用地費に追加しました。

なお、昭和47年度の追加補正の財源として、市税9億8914万円、市債10億3920万円、諸収入9966万円などをあてました。

昭和四十七年度一般会計

歳入		(単位万円)	
款		予算現額	収入済額
市	税	622.695	614.036
地方	譲与税	5.400	6.345
娯楽施設	利用税交付金	700	757
自動車	取得税交付金	9.059	9.667
地方	交付税	5.250	5.808
交通安全	対策特別交付金	2.103	2.103
分担金	及び負担金	9.753	3.249
使用料	及び手数料	23.595	23.494
国庫	支出金	99.673	84.441
県	支出金	31.221	14.581
財産	収入金	10.977	9.246
寄附	入金	1.496	1.429
繰	入金	421	240
繰	越入金	67.549	63.023
諸	収入	103.580	76.986
市	債	175.850	1.400
歳入合計		1.169.322	916.805

歳出		(単位万円)	
款		予算現額	支出済額
1、議	会費	12.081	11.924
2、総	務費	134.670	121.924
3、民	生費	113.125	103.376
4、衛	生費	154.136	78.947
5、労	働費	6.009	5.963
6、農	林水産業費	40.699	32.268
7、商	工費	20.053	19.769
8、土	木費	286.134	169.502
9、消	防費	32.637	31.106
10、教	育費	252.842	212.520
11、災	害復旧費	4.557	2.266
12、公	債費	82.087	80.796
13、諸	支出金	3.780	3.621
14、予	備費	26.512	0
歳出合計		1.169.322	873.982

公表します

各会計別の執行状況

(単位万円)

特別会計

特別会計は、国民健康保険事業、下水道事業など17会計です。昭和47年度の17会計の決算見込額は、歳入が19億2327万円で、歳出が17億5772万円、差引き1億6555万円の黒字が見込まれます。なお、46年度の決算とくらべると、歳入が4億5187万円、歳出が2億7583万円多くなっています。

特別会計の地方債は

地方債未償還額 (単位万円)

区分	未償還額
下水道事業	28.548
青島津田土地区画整理事業	700
魚市場事業	574
公共用地先行取得事業	91.815
駐車場事業	2.080
依田原新田土地区画整理事業	14.000
計	137.717

一般会計の地方債は

地方債未償還額 (単位万円)

区分	未償還額
大蔵省資金運用部	163.296
郵政省簡易保険局	125.172
公営企業金融公庫	2.983
市中銀行	115.815
農業協同組合	2.592
保険会社	3.400
共済組合	6.729
その他	69.537
計	489.524

	予算現額	収入済額	支出済額
国民健康保険事業	101.774	103.549	82.798
下水道事業	24.801	11.391	13.035
青島・津田土地区画整理事業	5.700	2.918	3.365
依田原新田土地区画整理事業	42.500	13.305	24.058
学校給食事業	4.517	4.236	4.260
魚市場事業	516	494	140
内山	2.792	2.238	2.157
旧吉原	42	41	0
旧島田	130	140	0
旧今泉	2.490	2.547	2
旧今泉・一色・神戸・今宮	830	860	13
旧元吉原	126	141	0
旧須津	144	181	44
旧吉永	563	574	116
旧原田	650	604	62
公共用地先行取得事業	88.386	45.103	43.840
駐車場事業	3.334	4.005	1.882
計	279.295	192.327	175.772

市税収入は

47年度の市税収入 (単位万円)

税目	予算額	収入済額
市民税	240.437	230.557
固定市産税	271.357	271.998
軽自動車税	4.570	4.696
市たばこ消費税	31.829	32.510
電気ガス税	50.883	52.132
木材取引税	130	160
都市計画税	22.938	21.984
計	622.144	614.037

市税負担の状況は

市民税	1人当り 12.422円 (9.282円)	1世帯当り 44.587円 (33.862円)
-----	-----------------------	-------------------------

固定資産税

1人当り	14.019円 (12.354円)
1世帯当り	50.320円 (45.066円)

軽自動車税

1人当り	236円 (239円)
1世帯当り	848円 (873円)

市たばこ消費税

1人当り	1.644円 (1.557円)
1世帯当り	5.902円 (5.679円)

電気ガス税

1人当り	2.629円 (2.469円)
1世帯当り	9.436円 (9.008円)

木材取引税

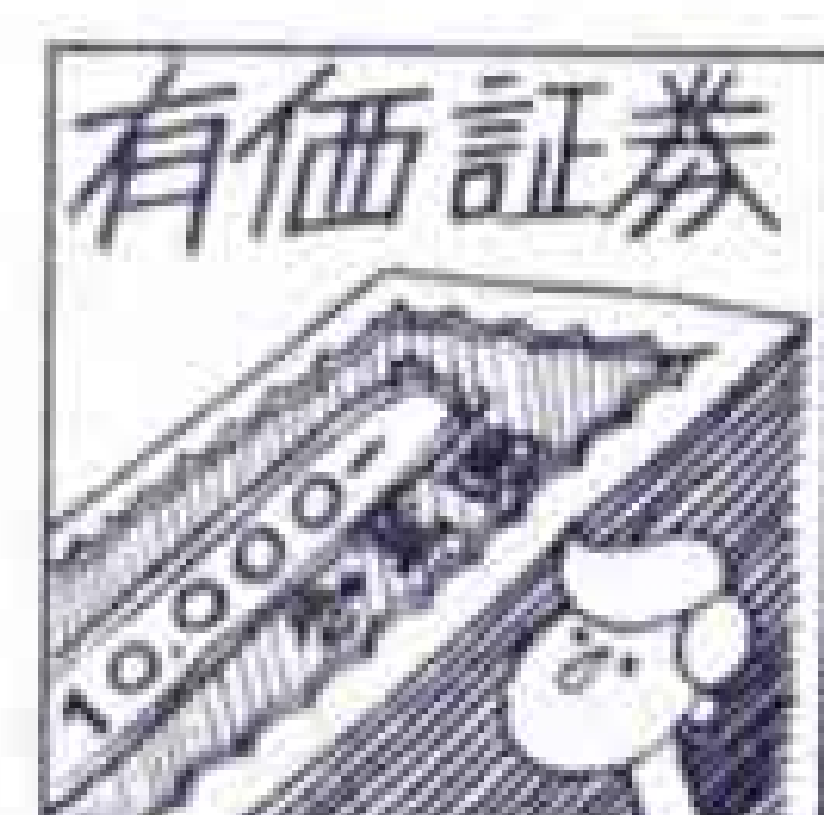
1人当り	7円 (4円)
1世帯当り	24円 (13円)

都市計画税

1人当り	1.185円 (1.050円)
1世帯当り	4.253円 (3.830円)

※カッコ内は昭和46年度

市の財産の保有状況は



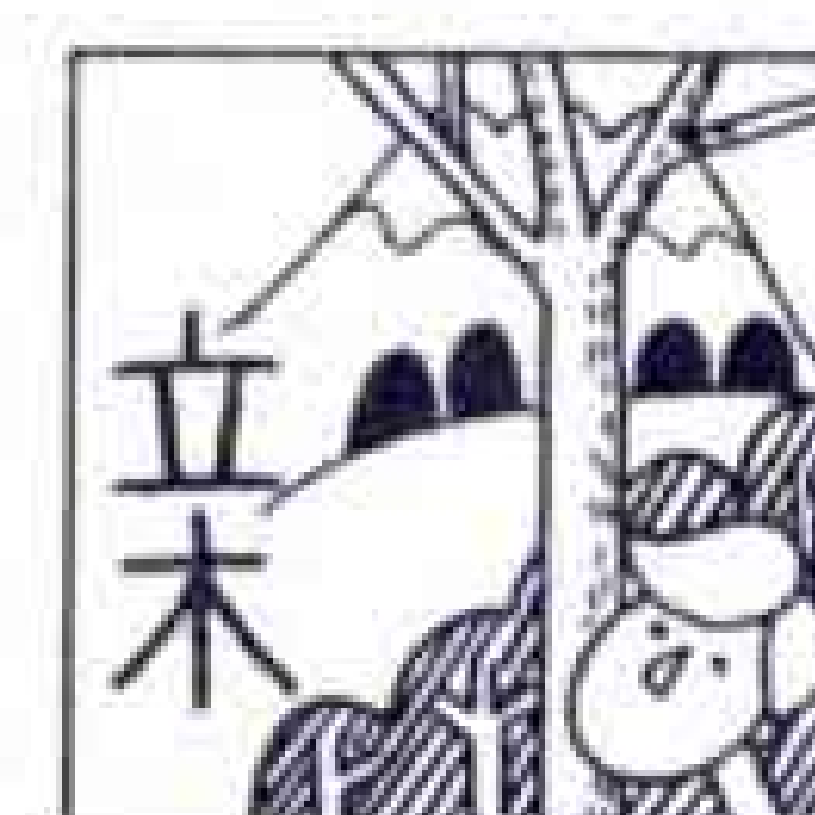
1.486万円



4.663万m²



31万m³



4万m²



159台

市議会6月定例会

市議会6月定例会が6月13日から3日間開かれ、昭和48年度一般会計補正予算、市立幼稚園保育料徴収条例の一部改正など10議案を慎重に審議した結果、いずれも原案どおり可決しました。また、正副議長の辞任にともない、正副議長選挙が行なわれ、投票の結果、議長に佐野晴雄氏、副議長に遠藤松吉氏が選ばれました。

幼児も医療助成の対象に

大気汚染に係る健康被害の救済条例を一部改正し、所得税額の引上げ、医療手当を増額しました。

これまで、前年分の所得税額が48,400円をこえるときは、医療手当や介護手当は支給されませんでした。しかし、所得税額の引上げにともない、71,070円まで支給されるようになりました。

医療手当は、入院15日以上が6000円から7000円に、8日以上15日未満が5000円から6000円に、8日未満が4000円から5000円になりました。通院の場合は、15日以上が4000円から5000円に、4日以上15日未満が3000円から4000円にそれぞれ増額しました。

なお、所得税額の引上げは48年10月1日から、医療手当の増額は48年4月1日にさかのぼって支給されます。

乳児医療費助成金支給条例の一部が改正され、幼児も医療費の助成が受けられるようになりました。医療費の助成は、乳児の場合は、療養を受けると支給されますが幼

児は15日以上入院したときだけ支給されます。

助成を希望する保護者は、医療費助成申請書を福祉事務所児童課へ出して、受給資格者証の交付を受けていただきます。なお、医療費の支給申請方法が変わりました。これまで、受給手続きをする時は医療機関で証明書をもらってから申請していただきました。しかし、5月分から、証明書は福祉事務所がまとめて医療機関に取りに行くので、手続きは児童課から通知が届いてからしていただきます。



【幼児は15日以上入院に医療助成を】

市立保育園の保育料徴収条例も一部改正しました。改正では、経済的に保育料の支払い負担が大きい家庭の保育料などを減免する範囲を広げました。

保育料などの減免額は、市民税の所得割額を免除されている世帯の場合、私立幼稚園が20,000円、市立幼稚園は11,000円です。所得割額が5000円以下の世帯は私立幼稚園が10,000円、市立幼稚園は7000円です。所得割額が5000円から10,000円以下の世帯は、私立・市立幼稚園とも5000円です。

なお、対象は市内に住んでいて、6月1日現在通園している4才児と5才児のいる世帯です。

各委員会の正副委員長も決まる

また、常任・特別委員会委員の改選も行なわれ、正副委員長が決まりました。

■総務企画委員会

委員長 服部源一郎 副委員長 松野俊一

■文教民生委員会

委員長 金指勝雄 副委員長 鈴木健夫

■衛生経済委員会

委員長 伊藤茂夫 副委員長 佐野好夫

■建設水道委員会

委員長 佐野勲 副委員長 山崎隆

■身延線複線化対策特別委員会

委員長 植田祥之 副委員長 小林武

■国一バイパス対策特別委員会

委員長 山田慶助 副委員長 村上勝次郎

■交通安全対策特別委員会

委員長 外山義一 副委員長 芦沢彦正

■総合運動公園建設特別委員会

委員長 加藤昌一 副委員長 渡辺政敏

■公害対策特別委員会

委員長 秋山登 副委員長 松下国三

■富士市地方卸売市場建設特別委員会

委員長 針木実 副委員長 渡辺政敏

■議会運営委員会

委員長 中井浜次郎 副委員長 森野芳郎

議長に佐野晴雄氏

佐野喜郎議長と中井浜次郎副議長の辞任にともない、正副議長選挙が行なわれました。選挙の結果、新議長には佐野晴雄氏、副議長には遠藤松吉氏が選ばれました。

佐野晴雄議長 (55才・岩本74-1)



昭和26年4月岩松村議会議員に就任。以後市議7期をつとめこの間、副議長、議会運営委員長、各常任委員長などを歴任してきました。

遠藤松吉副議長 (58才・広見町3)



昭和34年に吉原市議会議員に就任してから、市議5期をつとめ、この間総務委員長、公害対策委員長などの要職を歴任しました。



【伝法小学校北側に完成した伝法公民館】



【今泉公民館では婦人会が生け花や手芸を展示】

今泉と伝法にも公民館が

地域の社会教育活動の場として利用されている公民館。これまでに、大淵や鷹岡、田子浦など10地区に開設しましたが新たに伝法と今泉の2館が完成しました。

公民館は成人学校や公会堂、図書館などをプラスしたような施設で、市の行政の窓口としての性格も持っています。伝

法、今泉ともほかの公民館と同じように婦人学級や青年学級定期講座、展示会などの行事を行ないますので、ご利用ください。

伝法公民館は、伝法小学校の北側に、総工費2709万円をかけて、鉄筋コンクリート2階建てで建設しました。1階は料理

実習室、図書室、事務室。2階には茶道室、華道室、大・小会議室などがあります。

今泉公民館は、総工費2267万円をかけて、今泉婦人会館に増築し、鉄筋コンクリート3階建てとなりました。1階は婦人会館で和室や事務室、2階は料理実習室と集会室、3階は会議室などがあります

7月1日 ~8月31日 夏の交通事故死をなくす運動

運転中にもう少しで交通事故にあうところだった。歩いていて自動車にひかれそうになった。みなさんはこんな経験はありませんか。そんな時を思い出して見てください。一方的に相手の方からそれとも自分で注意をしていなかったのと、いろいろな状況があると思います

特に、夏になると暑さのため注意力が鈍ったり、寝不足からのいねむり運転が多くなります。そこで、夏に多い交通事故死をなくすため、7月1日から8月31日までの2カ月間「夏の交通事故死をなくす運動」を行ないます。

運動は歩行者、自転車乗りの死亡事故防止、暴走過労運転の追放、高速道路における走行マナーの確立を重点に進めていきます。そこで期間中、子どもや老人に対する安全教育、安全運転管理の強化、歩行者・自転車の夜光化、自転車の正し

い乗り方教室、指導取締りの強化などをはかります。

人身事故は大幅に減少

5月31日までに市内で発生した交通事故のうち、人身事故は346件、昨年と同じ時期に比べ100件も少なくなりました。死者も昨年より5人減っているものの、10人の尊い生命が失われてしまいました。

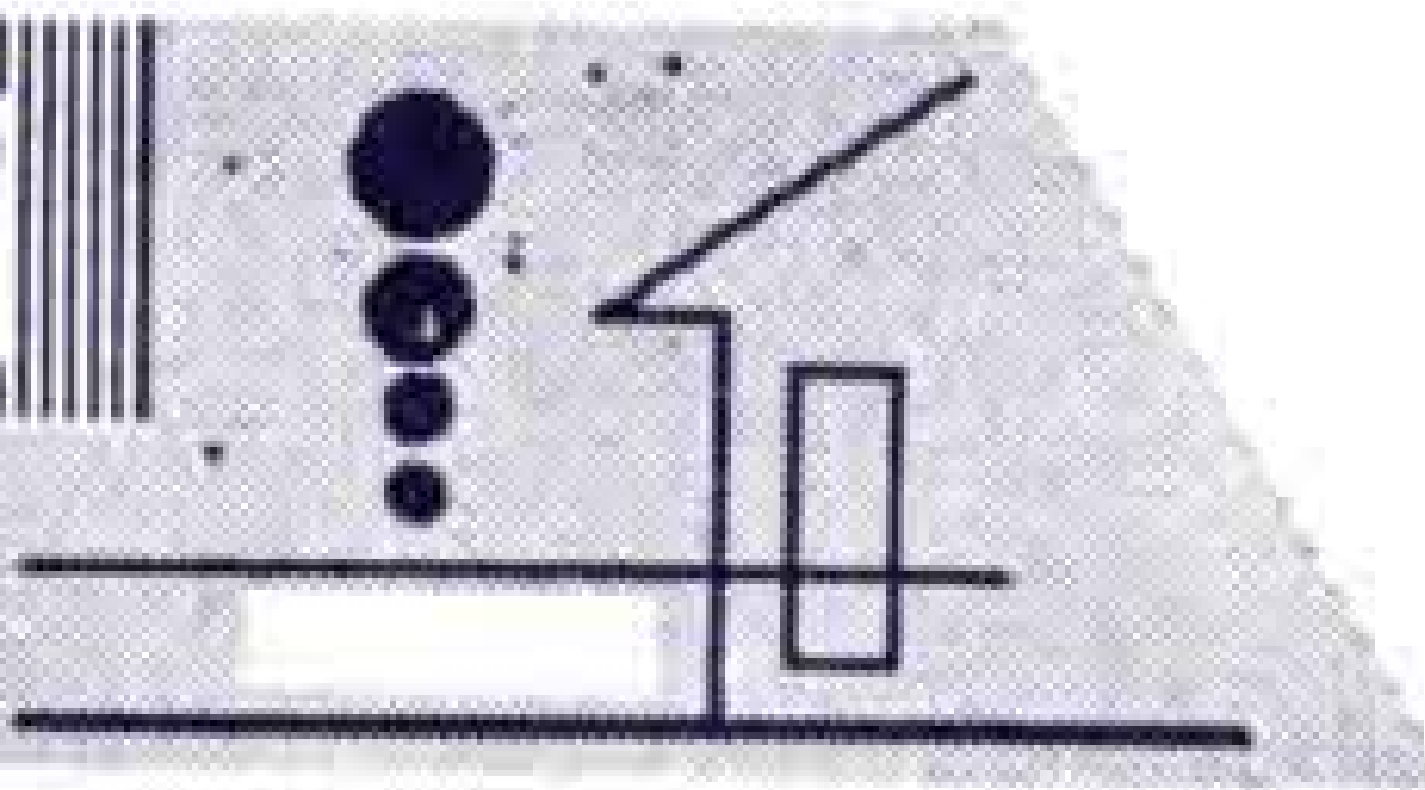
このように、全体的な人身事故は少なくなっていますが、歩行者、自転車乗りに特に子どもの事故は横ばい状態にあります。また、飲酒運転による事故もあとをたちません。

運転者はもちろん、歩行者のみなさんも正しい交通ルールを守り、私たちの富士市から交通事故を追放しましょう。



交通事故はちょっとした不注意から……

市政モニター提言



駿河湾の魚介類を定期的に調査して

問 魚介類を主なタンパク源として
いる私たちにとって、PCB汚
染度の高い魚がつきつぎに発表
されていることは非常にショックです。

昨年末の水産庁の調査による汚染水域
の特にひどいのは、兵庫県播磨灘沿岸や
瀬戸内海などがあげられています。この
水域の魚のなかからは基準の3PPMを
はるかに越える44PPMが検出されてい
ます。こんなにも汚染されてからの対策
では遅すぎるのではないかと思います。
駿河湾の中でも田子の浦港から沼津地区
にかけては、マークされている地区だと

思います。この近辺の魚介類を定期的に
調査し対策を立てる事を望みます。

(渡辺憲明・江尾2)

答 駿河湾の魚介類の調査は県農林
水産部が中心となり、衛生研究
所、公害防止センターなどが行
なっています。PCB、重金属などによ
ってどのように、汚染されているかを調
べるとともに、排出工場の追跡調査も実
施し究明を急いでいます。市は環境がこ
れ以上汚染されないように、発生源を厳
しく監視し、汚染防止につとめます。

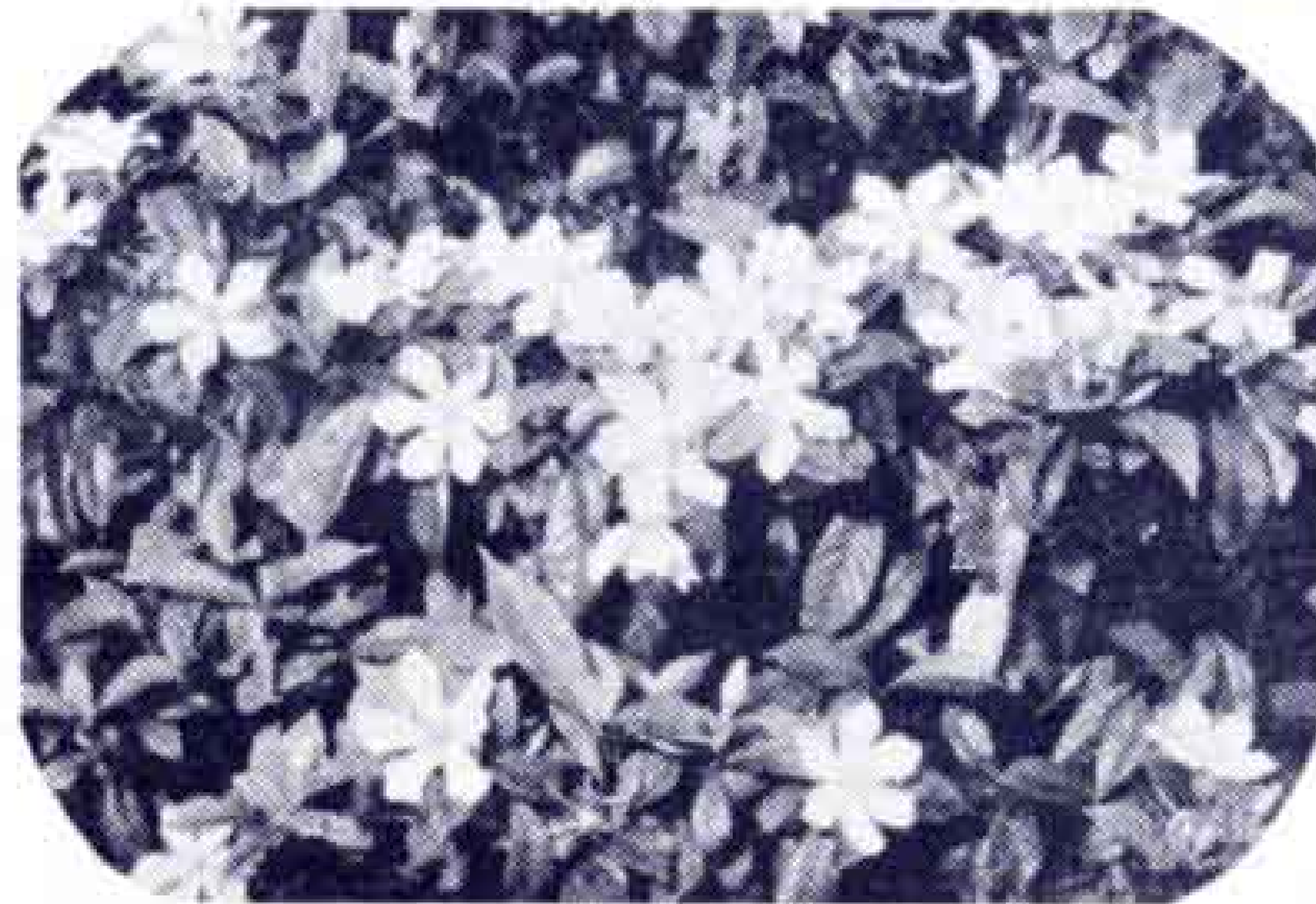
(公害課)



緑と花のコーナー

7月の花ことば

7月の花はクチナシ。花は白色で、か
おりがよく庭木として親しまれ、実は染
料や薬用として昔から利用されています
1日マツバギク・脅威を感じる。2日キン
ギョソウ・傲慢。3日ケシ・虚栄心。4日
モクレン・自然な愛情。5日ラベンダー・
私は信じない。6日ヒマワリ・高慢。7日
セイヨウスグリ・理想的。8日ミヤコグ
サ・復しゅう心。9日ツタバテンジクア
オイ・慰め。10日フウリンソウ・永久不
変。11日アスホデラス・あなたのもの。
12日マルバノホロシ・私は欺さない。13
日ザツソウ・実利主義。14日キキョウナ
デシコ・温和。15日ブライアーローズ・才



能にほれる。16日ストック・逆境にめげ
ず。17日バラ(白色)・愛の吐息。18日モ
スローズ・価値ある。19日トリカブト・
残酷。20日ナス・真実。21日バラ(黄色)
・不貞。22日ナデシコ・用意周到。23日
ランカスターローズ・争い。24日エンレ
イソウ・奥ゆかしい。25日ニワトコ・熱
心。26日ニガヨモギ・不足。27日フウロ
ソウ・上機嫌。28日ナデシコ・貞節。29
日サボテン・内気。30日シナノキ・熱情
的な恋。31日カボチャ・壮大。

当直医院

休日当直医院は、富士市医師会が急
病患者のために定めたものです。とこ
ろが、最近、かかりつけの医院がやす
みなのでみてくださいと、当直医院に
来る人が多くなりました。特に医療セ
ンターに多く、急病者の診察に支障
をきたしていますので、当直医院は急
病のときにだけご利用ください。

■7月1日

外科 米山病院(吉原4 52-3060)
松本医院(久沢東 71-2570)
産婦人科 武田医院(西宮島61-3490)

■7月8日

外科 渡辺病院(錦町1 51-3751)
宮下医院(平垣3 61-0376)
産婦人科 吉見医院
(昭和通り 52-2399)

■7月15日

外科 中央病院(本市場4区61-8800)
井上医院(富士見町 52-0988)
産婦人科 中央病院
(本市場4区 61-8800)

■7月22日

外科 芦川病院(中央町2 52-2480)
藤井医院(松岡 61-7811)
産婦人科 窪田医院(平垣 61-3100)

■7月29日

外科 吉原病院(南町 52-0780)
望月医院(本市場 61-0401)
産婦人科 長野医院(柚木 61-1907)

※内科、小児科は富士医師会が「医療
センター」で行っています。診療時間
は午前9時から午後5時までです。
医療センターの住所は「富士市伝法字
杉ノ木2850-2(長者町)」電話は52-
3104です。

件数 213件
(4月まで 805件)
死者 2人
(4月まで 8人)
負傷者 87人
(4月まで 443人)



五月の
交通事故
火災件数



8件発生
(4月まで 54件)
損害額 1519万円
(4月まで 7603万円)
死者 0 傷者 2
(4月まで 死者0人
負傷者14人)



【親子づれでいっぱい楽しい折り紙講習会】



■紙の手すき実演などが

わたしたちの生活に欠くことのできない「紙」がどのように作られ、利用されているか知っていただくため、さきごろ「くらしの中の紙展」を富士文化センターで開きました。展示品は江戸時代の紙製ぞうりや瓦版、道中がっぱなど200点で、紙の利用価値が一目でわかりました。このほか、会場では、手すきの実演や母と子の折り紙講習会も行ないました。

■大盛況の市民プール

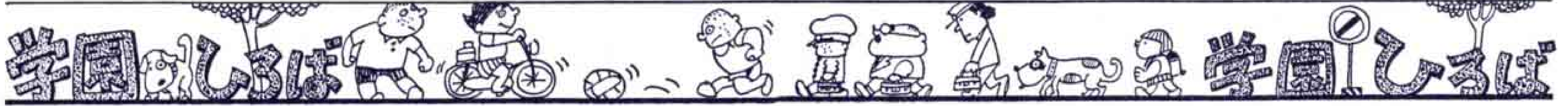
市民の体力づくりと健康的なレクリエーションの場に利用していただくため、市民プールの建設を進めていましたが、このほど完成し、6月16日プール開きを行ないました。朝方は今にも雨が降りそうな天気でしたが、プール開きのはじまる頃には、晴れ間が見え、気温もグングンあがってきました。無料開放した午後には30度近くと真夏を思わせ、1時から4時までの間に6000人が訪れ、超満員になりました。



■善意のコイ500匹を放流

大井川町や市民の方から丸火自然公園の富士見ヶ池に贈られたコイが、さきごろ盗まれてしまいました。この話を聞いた青年団連絡協議会や一市民の方から、コイを買って池に放して下さいと4万円が寄せられました。そこで、体長約20cmの緋ゴイや錦ゴイ500匹を買入れ、6月9日、富士見ヶ池に放流しました。このほか、金魚やコイを放流してくれた市民の方もいます。なお、富士見ヶ池には、約2500～2600尾のコイがいましたが、専門家の調べでは500～600尾しか確認できず、約2000尾が盗まれたとされます。

【善意のコイを放流する渡辺市長ら】



お米のできるまでを勉強

吉永1小で田植え

みんな田植えをやったことがあるかなー。吉永第1小学校の5年生(132人)は、さきごろ理科の勉強で、実際に田植えをしたんだ。ほとんどの子がこれまで田植えの経験がなかったので、先生の植えるのをお手本に、10アールの水田へ約20畝の苗を全員で植えました。これからは、稲の育て方を観察しながら、お米のできるまでを勉強します。なお、水田は富士岡1丁目の渡辺さんが、勉強のために貸してくれました。



市内通話が 3分間7円に なるよ!

みんな電話の3分制を知っている？ 公衆電話は昨年より実施され、3分間たつと自動的に切れてしまうね。今度、家庭用の黒電話も3分制になるんだ。公衆電話のように自動的に切れるようなことはないけど、3分間ごとに料金が7円づつかかるよ。これは7月25日からはじまりますから、あまり長電話をしないようにしようね。

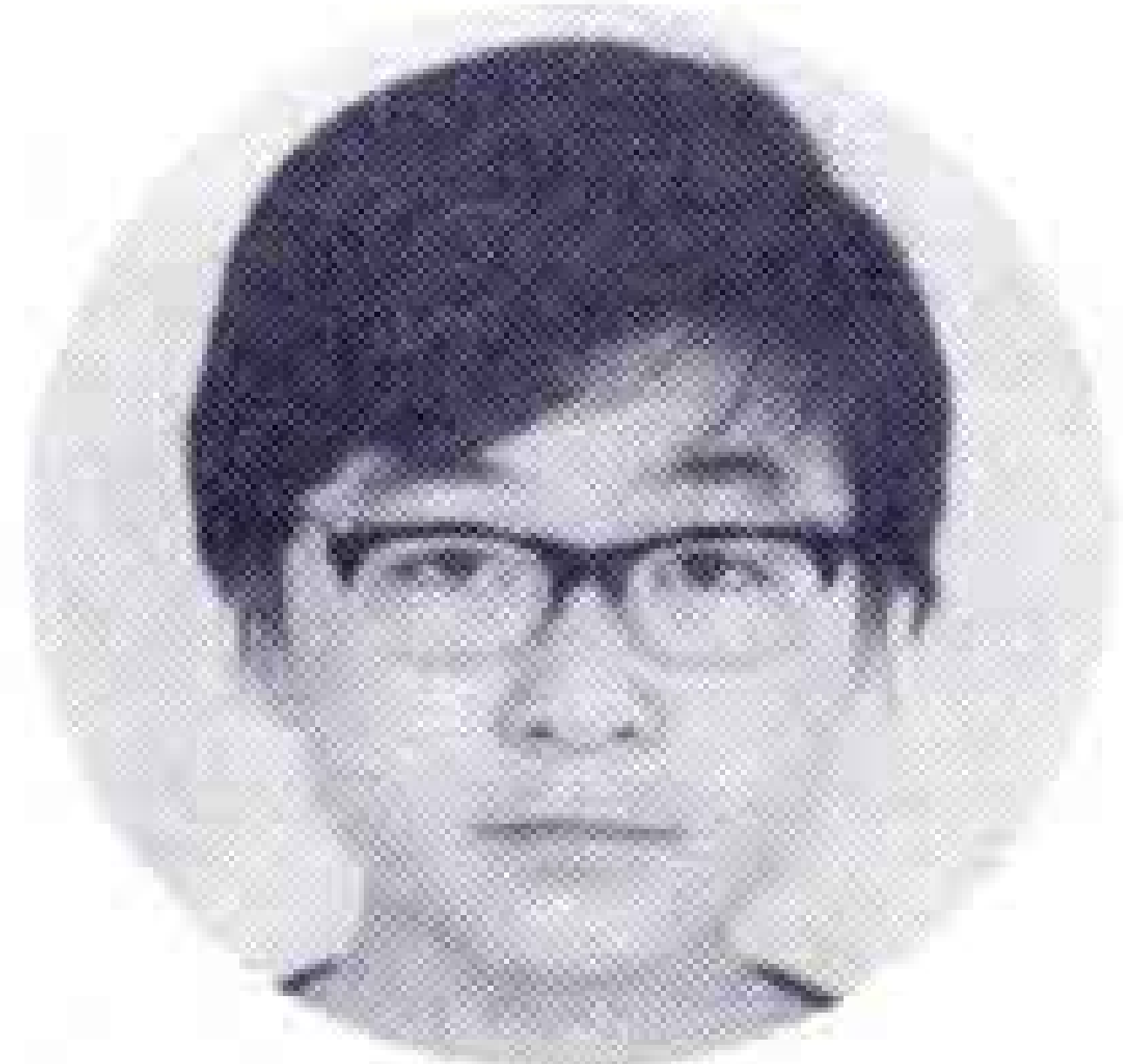
市外通話料金はかわりませんが、わたしたちの町から全国の主要都市に7円でかけられる通話時間は、どのくらいかなー。

水戸、四日市、岐阜、長野は6.5秒。会津若松、郡山、京都、奈良は5秒。山形、仙台、鳥取、岡山は4秒。秋田、青森、山口、広島、高知は3秒。札幌、根室、福岡、鹿児島は2.4秒なんだ。

ところで、外国の主要都市に3分間電話するといくら料金がかかると思う…。サンフランシスコ、ニューヨーク、ロンドン、パリは3240円、リオデジャネイロは3945円、近いところで香港は1890円だよ。

わたしの作品
一年 高橋穂波
須津中学校

幸福



楽しかった修学旅行

広見小学校6年 坂井陽子

5月15日と16日は、私たちの待ちに待った修学旅行でした。

この日のために、私たちは、家や学校で、いろいろな勉強をしました。家では百科事典などで見学地について調べました。わからない所は、友だちにも聞いたりしました。

学級会では、班づくりやバスの中での過ごし方、旅館での過ごし方についてい

ろいろ話し合いました。学級指導では、修学旅行の意味や旅行中の注意などについて、先生から指導していただきました。全体では、校長先生から集団行動の意味、集団行動の大切さを教えていただきました。

こうして、いよいよ出発。朝早いのにほとんどのおとうさんやおかあさん方が見送ってくれました。お天気も最高によく、計画どおり旅行を終えることができ

ました。

私たちがこの旅行で一番うれしかったのは、いつも校長先生や先生方といっしょに行動ができたことです。後楽園でもいっしょに遊びました。いっしょに乗り物にも乗りました。旅館でも同じへやで同じ食事をしました。お風呂もいっしょにはいりました。同じへやで、話しをしながらねました。あとかたづけやそうじもしました。

1ばく2日の短かった旅行でしたが、私たちは修学旅行の目的を果たすことができました。そして、小学校の最良の思い出となることでしょう。

